

地域総合学部地域コミュニティ学科 課程表

2023 年度以降入学生適用

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開 講 学 年												備 考			
			1 年			2 年			3 年			4 年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	○印—必修科目	○印—選択必修科目		
教養教育科目	T G ベーシク	人間的基礎	聖書を学ぶ	半期	●	2										○		
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2										○	
			キリスト教学A (キリスト教と倫理)	半期										2			} ○	2 単位選択必修。4 単位まで卒業単位に参入することができる。
			キリスト教学B (キリスト教と宗教)	半期									2					
			キリスト教学C (キリスト教と文化)	半期									2					
			キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	半期									2					
			共生社会と倫理	半期				○	○	2						} ○		
		科学技術社会と倫理	半期				○	○	2									
		よき社会生活のためにA (法律)	半期	○	○	2									} ○	2 単位選択必修		
		よき社会生活のためにB (福祉)	半期	○	○	2												
		よき社会生活のためにC (健康)	半期	○	○	2												
		知的基礎	リーディング&ライティング	半期	○	○	2									} ○	2 単位選択必修	
			クリティカル・シンキング	半期	○	○	2											
			情報リテラシー	半期	○	○	2									○		
	統計的思考の基礎		半期	○	○	2									} ○	2 単位選択必修		
	科学的思考の基礎		半期	○	○	2												
	課題探究	キャリア形成の探究	半期	○	○	2									} ○	6 単位選択必修		
		東北学院史の探究	半期							○	○	2						
		データ活用による探究	半期				○	○	2									
		地域ボランティア活動の探究	半期	○	○	2												
		地域課題の探究	半期				○	○	2									
	課題探究演習	半期		●	2													
	人文系	哲学	半期	○	○	2									} ○	4 単位選択必修		
		芸術論	半期	○	○	2												
		文化の歴史	半期	○	○	2												
		音楽	半期	○	○	2												
		倫理学	半期	○	○	2												
		文学	半期	○	○	2												
歴史学		半期	○	○	2													
文化人類学		半期	○	○	2													
言語論		半期	○	○	2													
社会系		心理学	半期	○	○	2											} ○	4 単位選択必修
	社会学	半期	○	○	2													
	経営学	半期	○	○	2													
	経済学	半期	○	○	2													
	法学	半期	○	○	2													
	日本国憲法	半期	○	○	2													
	現代の政治	半期	○	○	2													
	地理学	半期	○	○	2													
	社会福祉論	半期	○	○	2													
	ジェンダー論	半期	○	○	2													
自然系	東北地域論	半期	○	○	2									} ○	4 単位選択必修			
	数理の科学	半期	○	○	2													
	記号論理学	半期	○	○	2													
	生命の科学	半期	○	○	2													
	環境の科学	半期	○	○	2													
	自然の科学	半期	○	○	2													
	先端科学と技術	半期	○	○	2													
AI 社会の基礎	半期	○	○	2														

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考				
			1年			2年			3年			4年							
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	◎印—必修科目	○印—選択必修科目			
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1											◎		
	英語ⅠB	半期		●		1											◎		
	英語ⅡA	半期					●			1							◎		
	英語ⅡB	半期						●		1							◎		
	第2類	ドイツ語ⅠA	半期	●		2												◎	2単位選択必修 週2回開講 ※Bの選択にあたってはAと同一外国語を履修すること
		フランス語ⅠA	半期	●		2													
		中国語ⅠA	半期	●		2													
		韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●		2													
		ドイツ語ⅠB	半期		●		2												
		フランス語ⅠB	半期		●		2												
		中国語ⅠB	半期		●		2												
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●		2												
		ドイツ語ⅡA	半期				●			1									
		フランス語ⅡA	半期				●			1									
		中国語ⅡA	半期				●			1									
		韓国・朝鮮語ⅡA	半期				●			1									
		ドイツ語コミュニケーションA	半期				●			1									
		フランス語コミュニケーションA	半期				●			1									
		中国語コミュニケーションA	半期				●			1									
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA	半期				●			1									
		ドイツ語ⅡB	半期					●		1									
		フランス語ⅡB	半期					●		1									
		中国語ⅡB	半期					●		1									
		韓国・朝鮮語ⅡB	半期					●		1									
	ドイツ語コミュニケーションB	半期					●		1										
	フランス語コミュニケーションB	半期					●		1										
	中国語コミュニケーションB	半期					●		1										
	韓国・朝鮮語コミュニケーションB	半期					●		1										
	ドイツ語ⅢA	半期							●		1								
	フランス語ⅢA	半期							●		1								
	中国語ⅢA	半期							●		1								
韓国・朝鮮語ⅢA	半期							●		1									
ドイツ語ⅢB	半期								●		1								
フランス語ⅢB	半期								●		1								
中国語ⅢB	半期								●		1								
韓国・朝鮮語ⅢB	半期								●		1								
第3類	ベーシック英語	半期	●		1												「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修後に1年後期開講の「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」は進級・卒業要件には含まない。		
	英語コミュニケーション	半期	○	○	2												週2回開講		
	英語ⅢA	半期							●		1								
	英語ⅢB	半期								●		1							
保健体育科目	スポーツ実技A	半期	○	○	1														
	スポーツ実技B	半期	○	○	1														
	体育講義	半期	○	○	2														
留学科目	海外研究A	通年							4										
	海外研究B	半期			2												4単位まで卒業単位に算入		
	海外研究C	半期			1														
外国人及び 帰国生科目	日本語ⅠA	半期	●		1														
	日本語ⅠB	半期		●	1														
	日本語ⅡA	半期				●			1										
	日本語ⅡB	半期					●		1										

※開講学年前後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
専門 基盤 科目	社会と産業基礎論	半期	●		2											○	12単位選択必修
	健康と福祉基礎論	半期	●		2											○	
	人と自然基礎論	半期	●		2											○	
	基礎コンピュータ	半期	●		2											○	
	市民活動論	半期		●	2											○	
	地域生活論	半期		●	2												
	地域と自然	半期		●	2												
	地理学要説	半期	●		2												
	地誌学要説	半期	●		2												
	SDGs概論	半期	●		2												
	地域データ分析法	半期				●	2										
	共同体と市民社会	半期						●	2								
	地域コミュニティ学演習Ⅰ	半期						●	2						○		
	地域コミュニティ学演習Ⅱ	半期							●	2					○		
	総合研究Ⅰ	半期									●		2		○		
総合研究Ⅱ	半期										●	2		○			
専門 科目	社会産業 領域科目	都市と農山村の地理学	半期					●	2						○	社会産業領域科目、健康福祉領域科目、人と自然領域科目からそれぞれ8単位が選択必修。 加えて上記3つの領域専門科目の中から4単位を修得し、計28単位を修得すること。	
		経済地理学	半期				●	2									
		地域資源保全論	半期				●	2									
		地域と教育の歴史	半期				●	2									
		地域システム論	半期						●	2							
		地域社会論	半期						●	2							
		地域政策論	半期							●	2						
	地域文化論	半期							●	2							
	健康福祉 領域科目	地域福祉論	半期				●	2							○		
		生涯学習概論Ⅰ	半期				●	2									
		生涯学習概論Ⅱ	半期				●	2									
		社会コミュニケーション論	半期				●	2									
		地域と教育支援	半期						●	2							
		NPO論	半期						●	2							
		福祉社会論	半期						●	2							
教育と社会	半期						●	2									
人と自然 領域科目	気候学	半期				●	2							○			
	地形学	半期				●	2										
	生態学	半期				●	2										
	環境社会学	半期				●	2										
	環境マネジメント	半期						●	2								
	地域防災科学	半期						●	2								
	SDGsとシティズンシップ論	半期						●	2								
実習 科目	地域コミュニティ学基礎実習	半期		●	2									○			
	地域コミュニティ学発展実習	半期				○	○	2									
	測量学実習	半期						●	2								
	GIS実習	半期						●	2								
	海外地域実習	通年								2							
専門 関連 科目	日本史概説	半期		●	2									○			
	外国史概説	半期	●		2												
	民俗学概論Ⅰ	半期	●		2												
	民俗学概論Ⅱ	半期		●	2												
	測量学	半期						●	2								

地域コミュニティ学科卒業要件

・卒業に必要な最低修得単位数

科目区分			単 位		
教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	22	34
		知的基礎	6		
		課題探究	6		
	共通教養科目	人文系	4	12	
		社会系	4		
自然系		4			
外国語科目	第1類		4	6	
	第2類		2		
専門科目	専門基盤科目		28	66	
	領域専門科目	社会産業領域科目	8		28
		健康福祉領域科目	8		
		人と自然領域科目	8		
		上記のうちいずれかの専門科目	4		
	実習科目		10		
専門関連科目					
教養教育科目 外国語科目 第2類・第3類（「ベーシック英語」を除く） 保健体育科目 留学科目（4単位まで） 専門科目 他学部・他学科開講科目 協定を締結している他大学開講科目			18		
合 計			124		

〈カリキュラムマップの見方〉

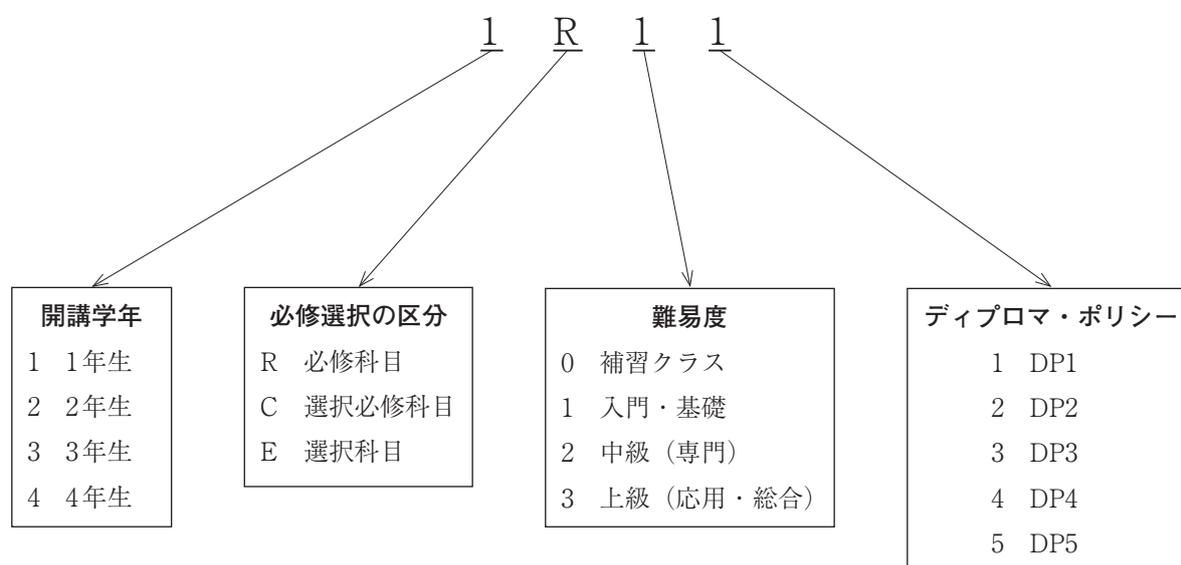
カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が、全学共通の5つの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）のうちどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。なお、DP5の細項目は、各学科の専門科目の学修によって達成を目指している方針・目標となります。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解し、履修の順序についてもしっかりと計画を立てておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。

右端の「ディプロマ・ポリシー」とは、その科目が最も達成しようとしている方針（DP）がどれかを示しています。



(1) 地域総合学部 地域コミュニティ学科 カリキュラムマップ (学位授与の方針との対応)

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる (現代をよく 生きる)	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる (汎 用的技能・能力)	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる (課題発見・ 解決)	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる (多面的 認識、思考)	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる (専門分野 の学修)
1R11	聖書を学ぶ	○				
1R11	キリスト教の歴史と思想	○				
3C21	キリスト教学 A (キリスト教と倫理)	○				
3C21	キリスト教学 B (キリスト教と宗教)	○				
3C21	キリスト教学 C (キリスト教と文化)	○				
3C21	キリスト教学 D (キリスト教と現代社会)	○				
2C11	共生社会と倫理	○			○	
2C11	科学技術社会と倫理	○			○	
1C11	よき社会生活のために A (法律)	○			○	
1C11	よき社会生活のために B (福祉)	○			○	
1C11	よき社会生活のために C (健康)	○			○	
1C12	リーディング&ライティング		○			
1C12	クリティカル・シンキング		○			
1R12	情報リテラシー		○		○	
1C12	統計的思考の基礎		○		○	
1C12	科学的思考の基礎		○		○	
1C13	キャリア形成の探究	○		○		
3C13	東北学院史の探究	○		○		
2C23	データ活用による探究		○	○		
1C13	地域ボランティア活動の探究	○		○		
2C23	地域課題の探究		○	○	○	
1C23	課題探究演習		○	○		
1C14	哲学				○	
1C14	芸術論	○			○	
1C14	文化の歴史				○	
1C14	音楽	○			○	
1C14	倫理学				○	
1C14	文学				○	
1C14	歴史学	○			○	
1C14	文化人類学	○			○	
1C14	言語論				○	
1C14	心理学				○	
1C14	社会学				○	
1C14	経営学				○	
1C14	経済学				○	
1C14	法学				○	
1C14	日本国憲法	○			○	
1C14	現代の政治	○			○	
1C14	地理学				○	
1C14	社会福祉論				○	
1C14	ジェンダー論				○	
1C14	東北地域論				○	
1C14	数理の科学				○	
1C14	記号論理学		○		○	
1C14	生命の科学				○	
1C14	環境の科学				○	
1C14	自然の科学				○	
1C14	先端科学と技術				○	
1C14	AI 社会の基礎		○		○	
1R12	英語 I A		○		○	
1R12	英語 I B		○		○	
2R22	英語 II A		○		○	
2R22	英語 II B		○		○	
1C12	ドイツ語 I A		○		○	
1C12	フランス語 I A		○		○	
1C12	中国語 I A		○		○	
1C12	韓国・朝鮮語 I A		○		○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1C12	ドイツ語Ⅰ B		○		○	
1C12	フランス語Ⅰ B		○		○	
1C12	中国語Ⅰ B		○		○	
1C12	韓国・朝鮮語Ⅰ B		○		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ A		○		○	
2E22	フランス語Ⅱ A		○		○	
2E22	中国語Ⅱ A		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ A		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション A		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーション A		○		○	
2E22	中国語コミュニケーション A		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション A		○		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ B		○		○	
2E22	フランス語Ⅱ B		○		○	
2E22	中国語Ⅱ B		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ B		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション B		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーション B		○		○	
2E22	中国語コミュニケーション B		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション B		○		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ A		○		○	
3E32	フランス語Ⅲ A		○		○	
3E32	中国語Ⅲ A		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ A		○		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ B		○		○	
3E32	フランス語Ⅲ B		○		○	
3E32	中国語Ⅲ B		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ B		○		○	
1E02	ベーシック英語		○		○	
1E12	英語コミュニケーション		○		○	
3E32	英語Ⅲ A		○		○	
3E32	英語Ⅲ B		○		○	
1E11	スポーツ実技 A	○				
1E11	スポーツ実技 B	○				
1E12	体育講義		○			
2E32	海外研究 A		○		○	
1E22	海外研究 B		○		○	
1E12	海外研究 C		○		○	
1E12	日本語Ⅰ A		○			
1E12	日本語Ⅰ B		○			
2E12	日本語Ⅱ A		○			
2E12	日本語Ⅱ B		○			
1R14	社会と産業基礎論				○	
1R14	健康と福祉基礎論				○	
1R14	人と自然基礎論				○	
1R12	基礎コンピュータ		○			
1C14	市民活動論				○	
1C14	地域生活論				○	
1C14	地域と自然				○	
1C14	地理学要説				○	
1C14	地誌学要説				○	
1C14	SDGs 概論				○	
2C24	地域データ分析法			○	○	
3C24	共同体と市民社会				○	
3R33	地域コミュニティ学演習Ⅰ			○		
3R33	地域コミュニティ学演習Ⅱ			○		
4R35	総合研究Ⅰ			○		○

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
4R35	総合研究Ⅱ			○		◎
3C25	都市と農山村の地理学					◎
2C25	経済地理学					◎
2C25	地域資源保全論					◎
2C25	地域と教育の歴史					◎
3C25	地域システム論					◎
3C25	地域社会論					◎
3C25	地域政策論					◎
3C25	地域文化論					◎
2C25	地域福祉論					◎
2C25	生涯学習概論Ⅰ					◎
2C25	生涯学習概論Ⅱ					◎
2C25	社会コミュニケーション論					◎
3C25	地域と教育支援					◎
3C25	NPO論					◎
3C25	福祉社会論					◎
3C25	教育と社会					◎
2C25	気候学					◎
2C25	地形学					◎
2C25	生態学					◎
2C25	環境社会学					◎
3C25	環境マネジメント					◎
3C25	地域防災科学					◎
3C25	SDGsとシティズンシップ論					◎
1C15	地域コミュニティ学基礎実習		○			◎
2C25	地域コミュニティ学発展実習			○		◎
3C35	測量学実習					◎
3C25	GIS実習					◎
3C25	海外地域実習				○	◎
1C15	日本史概説					◎
1C15	外国史概説					◎
1C15	民俗学概論Ⅰ					◎
1C15	民俗学概論Ⅱ					◎
3C35	測量学					◎
2E24	歴史の中の東北				◎	
2E24	江戸から明治へ				◎	
2E24	イスラーム世界の形成と展開				◎	
1E14	アジア史概論Ⅰ				◎	
1E14	アジア史概論Ⅱ				◎	
1E14	ヨーロッパ史概論Ⅰ				◎	
1E14	ヨーロッパ史概論Ⅱ				◎	
1E14	政治学概論				◎	
1E14	経済学概論Ⅰ				◎	
1E14	経済学概論Ⅱ				◎	
2E24	国際経済学				◎	
2E24	福祉国家概論				◎	
2E24	政策分析論				◎	
1E14	教育基礎論				◎	
1E14	現代教職論				◎	
1E14	教育の制度と経営				◎	
2E24	教育心理学				◎	
3E34	特別支援教育論				◎	
2E24	教育課程論				◎	
2E24	道徳教育の理論と方法				◎	
3E34	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法				◎	
2E24	教育の方法と技術				◎	
3E34	ICT活用の理論と方法				◎	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
2E24	生徒指導・進路指導の理論と方法				○	
2E24	教育相談の理論と方法				○	
2E35	社会・地理歴史科教育法（概論・理論）					○
2E35	社会・公民科教育法（概論・理論）					○
3E35	社会・地理歴史科教育法（実践）					○
3E35	社会・公民科教育法（実践）					○
3E35	社会・地理歴史科教育法（応用）					○
3E35	社会・公民科教育法（応用）					○
4E33	教育実習Ⅰ			○		
4E33	教育実習Ⅱ			○		
4E33	教職実践演習（中・高）			○		
3E24	介護体験実習				○	
1E14	博物館概論				○	
1E24	博物館教育論				○	
2E14	図書館概論				○	
3E24	生涯学習支援論				○	
3E33	社会教育実習Ⅰ			○		
3E33	社会教育実習Ⅱ			○		
3E24	現代社会と社会教育				○	
3E33	社会教育課題研究			○		
3E33	教育調査実習A			○		
3E33	教育調査実習B			○		
4E34	社会教育経営論				○	
4E24	図書館制度・経営論				○	

(2) 地域総合学部 地域コミュニティ学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果			
		1	2	3	4
		大学の教室だけでなく、フィールドワークを通じて地域という現場で学ぶことにより、地域に関する認識を深め、地域住民の視点から地域の現状と課題を具体的に把握することができる。(フィールドでの学び)	学際的で科学的な学修を通じて、現実の地域が自然、産業、教育、福祉など多様な諸要素から構成されていることを理解し、それらの複合的な連関を追究するために必要な各種の専門的知識を活用することができる。(地域の複合性)	地域を分析し、地域の課題を見いだすために必要な種々のワークスキル、すなわち地域調査のさまざまな手法、各種統計データの収集と分析の技法、文書資料の収集と読解の方法、作図や作表の技法を駆使することができる。(実証的な分析)	地域に関するフィールドワークおよびデータ分析に基づいて、地域住民の視点からよりよい地域のあり方を構想するとともに、それを提案するためのプレゼンテーションをおこなうことができる。(住民視点での構想)
1R14	社会と産業基礎論		◎		○
1R14	健康と福祉基礎論		◎		○
1R14	人と自然基礎論		◎		○
1R12	基礎コンピュータ			◎	
1C14	市民活動論		◎		○
1C14	地域生活論		◎		○
1C14	地域と自然		◎		○
1C14	地理学要説		◎	○	
1C14	地誌学要説		◎	○	
1C14	SDGs 概論				◎
2C24	地域データ分析法		○	◎	
3C24	共同体と市民社会		◎		
3R33	地域コミュニティ学演習Ⅰ	◎			○
3R33	地域コミュニティ学演習Ⅱ	◎			○
4R35	総合研究Ⅰ	◎		○	○
4R35	総合研究Ⅱ	◎		○	○
3C25	都市と農山村の地理学		◎	○	
2C25	経済地理学		◎	○	
2C25	地域資源保全論		◎	○	
2C25	地域と教育の歴史		◎	○	
3C25	地域システム論		◎	○	
3C25	地域社会論		◎		○
3C25	地域政策論		◎		○
3C25	地域文化論		◎		○
2C25	地域福祉論		◎		○
2C25	生涯学習概論Ⅰ		◎		○
2C25	生涯学習概論Ⅱ		◎		○
2C25	社会コミュニケーション論		◎	○	
3C25	地域と教育支援		◎		○
3C25	NPO 論		◎	○	
3C25	福祉社会論		◎		○
3C25	教育と社会		◎		○
2C25	気候学		◎	○	
2C25	地形学		◎	○	
2C25	生態学		◎	○	
2C25	環境社会学		◎	○	
3C25	環境マネジメント		◎		○
3C25	地域防災科学		◎		○
3C25	SDGs とシティズンシップ論		◎		○
1C15	地域コミュニティ学基礎実習	◎			
2C25	地域コミュニティ学発展実習	◎			
3C35	測量学実習			◎	
3C25	GIS 実習			◎	
3C25	海外地域実習	◎			
1C15	日本史概説		◎		
1C15	外国史概説		◎		
1C15	民俗学概論Ⅰ		◎		
1C15	民俗学概論Ⅱ		◎		
3C35	測量学			◎	